

# 園芸市場情報

平成30年10月号

[www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/](http://www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/)

発行：千葉県農林水産部流通販売課  
首都圏マーケティングセンター  
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1  
大田市場事務棟4F  
電話：03-5492-5416・5407  
FAX：03-5492-5407

## 10月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

果実類は、入荷量は前年並、相場は前年並か！

花きは、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

## <今月の写真>

### \* 千葉県産 梨「豊水・あきづき」一斉消費宣伝実施 \*

8月25日(土)から9月9日(日)の土・日曜日を中心に、千葉県果樹園芸組合連合会(以下果樹連)、(公社)千葉県園芸協会、全農千葉県本部、千葉県の主催により、千葉会の協力の下、首都圏及び県内の量販店20店舗で、本県産梨、「豊水・あきづき」の一斉消費宣伝が行われました。

本年初めて果樹連も主催に加わり、生産者自らが行う販売促進活動を展開しました。

生産者の方が店頭立つと、商品の売れ行きは変わります。これは、消費者の信頼と丁寧な説明によるものと思われます。ただし、出荷期間内に生産者が販売促進活動を行うことは、労力負担が大きき難しいのも実情です。今回の20店舗には、それぞれの主催者の費用負担により販売促進員を配置し対面販売を実施しました。各機関の担当職員は、店舗を巡回し販売促進員の指導も実施しています。

生産者に労力負担をかけずに販売促進活動を拡大していくためには、販売促進員を活用することも有効な手段です。

今後、多くの品目で一層の有利販売に向けた、生産者主導による消費宣伝活動が展開されることを期待します。



千葉県果樹園芸組合連合会の石井会長が、お客様にわかりやすく梨の説明をして下さいました



各店に販売促進員が入り、対面販売による消費宣伝活動が展開されました

## CONTENTS (目次)

<b>I 青果情報</b>	<b>1項</b>
9月(中旬まで)の経過	
東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格	
10月の見通し	
今月の青果物 特集「かんしょ」	
<b>II 花き(切花)情報</b>	<b>6項</b>
9月(中旬まで)の経過(販売経過、品目別経過)	
10月の見通し(ガーベラ・鉄砲ユリ)	
8月の入荷量と単価の経過 <確定値>	
<b>III 千葉県内市場における園芸品の市況概況</b>	<b>7項</b>
8月の青果物と花き	
<b>IV やっちゃんば閑話</b>	<b>8項</b>
値ごろ感とは?	
<b>V 首都圏掲示板</b>	<b>9項</b>
消費広がる“生落花生”	
松茸競り場が出現～秋の気配です	

## 用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の幅を示す用語	平年並	: ± 2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ± 3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ± 6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ± 16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

# I 青果情報

## 1 8月下旬～9月中旬までの経過

気象	<p>この期間中は三つの台風が立て続けに接近、上陸し、中でも台風21号は四国及び本州各地、特に近畿に大きな被害をもたらした。また、9月6日に北海道胆振東部地震が発生し、道内に大きな爪痕を残した。</p> <p>気温は、9月に入り平均気温が平年を下回る日が増え、全国的に平年並となった。</p> <p>降水量は、西日本、東日本日本海側、山形、秋田など多くの地点で、平年より大幅に多くなった。</p> <p>日照は、北海道、東北北部を除き、多くの地点で平年並か短くなった。</p>
----	--

### 野菜類

入荷量	<p>東京都中央卸売市場への入荷は、高冷地産や北海道・東北産が中心となった。北海道胆振東部地震の影響で、北海道からの入荷が一時的に不安定となったが、翌週には物流網も回復し市場における混乱は見られなかった。</p> <p>長雨・日照不足の影響を受けた「だいこん」「にんじん」などのほか、「ねぎ」など多くの品目で入荷量が前年を下回った。なお、国産の不足感から外国産の入荷量は前年より約2割多かった。</p> <p>野菜全体では、8月下旬から9月中旬までの入荷量は128,212 t（前年比93.1%）と前年をかなり下回った。</p>
相場	<p>8月以降の継続した不足感から、ほとんどの品目で前年を上回った。一方で、入荷量が回復した「キャベツ類」「レタス類」は前年を大幅に下回った。野菜全体では、8月下旬から9月中旬までの価格は289円/kg（前年比112.3%）と前年をかなり上回った。</p>

### 果実類

入荷量	<p>「日本なし類」「ぶどう類」「りんご類」等を中心に上回った。</p> <p>入荷量は、「日本なし類」は生育前進から品種の切り替えが早まり、幸水は前年を大幅に下回ったが、豊水が前年を大幅に上回った結果、全体では前年並となった。「極早生みかん」、「かき類」の出回りも前年よりも早まっており、品目の切り替わりも早まっている。</p> <p>果実全体では、多くの品目が前進化したことから、8月下旬から9月中旬までの入荷量は33,792 t（前年比90.7%）と前年をかなり下回った。</p>
相場	<p>価格は、「日本なし類」は、主力品種の豊水は気温が高く消費が下支えされ、前年をかなり上回り、全体でも高かった前年並となった。</p> <p>果実全体では、8月下旬から9月中旬までの価格は439円/kg（前年比115.2%）と前年をかなり上回った。</p>

# 東京都中央卸売市場における入荷量と価格

平成30年8月下旬～9月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	8月下旬				9月上旬				9月中旬				8月下旬～9月中旬合計			
	開市日数 本年8日・前年8日				開市日数 本年7日・前年8日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年22日・前年23日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
<b>野菜総量</b>	<b>46,454</b>	<b>94.3</b>	<b>287</b>	<b>110.0</b>	<b>39,964</b>	<b>96.7</b>	<b>289</b>	<b>110.5</b>	<b>41,794</b>	<b>88.7</b>	<b>290</b>	<b>116.6</b>	<b>128,212</b>	<b>93.1</b>	<b>289</b>	<b>112.3</b>
うち外国産	751	114.5	363	91.6	715	125.2	381	86.1	708	119.9	447	93.8	2,174	119.6	396	90.7
<b>果実総量</b>	<b>11,054</b>	<b>80.7</b>	<b>442</b>	<b>123.9</b>	<b>10,590</b>	<b>96.4</b>	<b>444</b>	<b>112.7</b>	<b>12,148</b>	<b>96.7</b>	<b>430</b>	<b>108.9</b>	<b>33,792</b>	<b>90.7</b>	<b>439</b>	<b>115.2</b>
うち外国産	1,411	88.6	242	113.7	1,257	93.3	233	110.5	1,304	94.4	235	109.1	3,971	91.9	237	111.2

## 主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	8月下旬				9月上旬				9月中旬				8月下旬～9月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	3,318	83.3	104	126.6	3,042	87.4	126	126.1	3,334	84.8	114	104.5	9,693	85.1	114	118.0
にんじん	2,708	87.7	142	182.3	1,983	74.0	151	192.4	1,996	70.7	190	238.8	6,688	77.9	159	202.2
はくさい	2,796	98.5	106	92.9	3,008	112.3	103	88.2	3,836	105.7	106	90.5	9,640	105.4	105	90.5
キャベツ類	6,904	107.5	83	86.4	5,741	105.7	75	82.3	5,845	99.5	80	76.8	18,491	104.3	79	81.8
ほうれんそう	259	96.7	843	109.2	241	94.5	770	88.3	246	69.3	987	150.1	746	85.0	867	114.8
ねぎ	1,647	95.8	372	107.5	1,301	83.2	394	123.0	1,336	82.3	482	151.8	4,285	87.3	413	125.7
レタス類	3,661	98.9	164	75.2	2,921	111.4	186	75.8	2,790	86.8	206	119.3	9,372	98.3	184	87.2
きゅうり	2,884	96.7	413	113.9	2,489	118.5	406	112.9	2,320	80.3	410	146.4	7,693	96.5	410	123.5
なす	1,417	98.8	331	103.8	988	107.1	415	109.7	889	74.6	537	137.0	3,293	92.8	412	114.8
トマト	2,735	94.7	508	127.0	2,416	124.3	516	99.7	2,236	77.3	499	117.0	7,387	95.6	508	115.6
ピーマン	844	100.2	517	129.7	768	110.4	455	127.2	777	100.7	419	115.4	2,389	103.5	465	124.2
さといも	214	110.1	337	84.7	215	97.3	310	90.7	283	85.0	328	101.4	712	95.2	325	93.4
ばれいしょ類	2,376	87.9	132	102.1	2,242	81.9	131	110.1	2,108	80.0	131	124.4	6,726	83.3	131	111.3
たまねぎ	3,895	96.0	106	124.3	2,884	81.8	111	138.1	3,573	106.5	110	143.7	10,353	94.6	109	134.3
生しいたけ	159	88.9	970	104.8	148	89.6	998	96.4	165	82.7	1,070	102.3	473	86.8	1,014	101.1
かぼちゃ	786	67.8	313	153.7	772	70.7	279	182.1	946	77.8	257	196.1	2,505	72.2	281	173.4
さやえんどう	5	62.9	2,168	131.8	4	81.0	2,282	126.8	4	84.8	2,204	116.8	13	73.8	2,213	126.2
かんしょ	820	98.8	233	106.5	877	95.4	214	103.3	1,107	102.3	217	102.0	2,804	99.0	221	103.8
かぶ	234	124.5	185	92.1	213	110.0	184	79.3	315	93.7	170	99.6	762	106.1	179	91.5
ごぼう	139	78.4	462	137.4	217	94.8	414	135.5	245	87.6	404	136.8	601	87.6	421	136.1
こまつ菜	434	108.6	404	96.4	414	90.0	327	92.5	454	85.8	414	147.3	1,302	93.8	383	111.1
こねぎ	160	106.2	1,137	105.4	125	104.4	1,066	92.5	125	102.4	1,102	96.2	410	104.5	1,105	98.4
糸みつば	41	89.9	855	146.2	36	83.6	684	129.1	41	93.0	718	140.9	118	88.9	754	139.3
しゅんぎく	19	112.2	1,393	92.9	15	66.6	1,333	121.1	21	63.3	1,483	218.2	55	75.7	1,410	140.5
にら	266	98.9	678	112.2	206	102.0	756	102.8	199	90.9	1,022	112.3	671	97.3	804	108.7
セルリー	211	81.8	387	131.5	172	78.2	337	109.1	192	85.7	320	106.6	575	81.9	350	116.3
カリフラワー	42	89.7	523	119.1	43	90.4	436	111.3	59	77.1	407	151.0	144	84.3	450	128.3
ブロッコリー	409	79.4	514	103.5	389	78.9	550	109.9	467	71.7	542	118.4	1,265	76.2	535	110.9
サラダな	35	104.6	455	97.6	29	88.0	427	86.8	30	83.1	482	101.3	93	91.7	455	95.2
パセリ	18	68.6	2,253	219.0	14	71.2	2,322	194.4	15	74.1	2,660	184.7	46	71.1	2,406	199.4
チンゲンサイ	122	92.1	408	127.0	111	76.7	349	117.4	122	80.5	395	137.2	354	82.8	385	127.8
エンダイブ	5	97.5	837	99.0	4	69.9	773	108.5	4	67.3	829	142.0	13	77.3	815	115.3
ミニトマト	643	91.5	1,020	128.7	700	112.5	996	103.5	733	105.0	830	95.1	2,077	102.6	945	108.3
とうもろこし	772	73.1	276	109.5	558	80.6	275	123.4	437	75.8	232	114.4	1,767	76.0	265	114.6
いんげん	93	69.8	1,020	145.3	91	87.4	831	114.6	60	48.2	1,128	143.4	244	67.5	976	132.3
えだまめ	571	73.7	850	128.2	440	83.4	767	143.3	309	71.3	704	132.8	1,320	76.1	788	133.4
やまといも	70	127.2	573	84.2	60	120.5	555	81.7	60	127.5	546	80.9	190	125.1	559	82.4
根しょうが	152	90.9	606	105.3	113	83.2	595	106.0	132	119.7	582	103.6	397	96.1	595	104.9
マッシュルーム	48	104.0	824	101.3	49	106.8	809	94.0	48	105.1	867	98.9	145	105.3	833	98.0

品目 (果実)	8月下旬				9月上旬				9月中旬				8月下旬～9月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	200	97.6	811	98.3	560	272.8	416	60.6	1,368	159.8	311	89.4	2,127	168.0	385	80.3
(ハウスみかん)	191	94.9	832	100.0	162	94.5	816	106.4	181	112.3	763	105.8	534	100.0	804	103.4
(極早生みかん)	8	270.0	319	91.4	390	1154.0	253	88.9	1,174	169.0	242	92.7	1,572	214.9	245	93.4
かんきつ類	371	102.2	269	101.4	332	110.5	256	96.9	341	115.7	250	95.0	1,044	109.0	259	97.9
りんご類	1,246	111.5	347	110.8	1,676	91.4	309	112.2	1,602	87.1	299	118.5	4,524	94.4	316	114.7
(ふじ)	45	50.3	563	134.5	19	114.1	465	136.6	2	117.0	399	165.7	66	61.4	529	131.2
いちご類	13	101.4	1,967	95.9	13	118.9	2,071	98.3	14	90.3	2,078	90.0	40	102.2	2,040	94.1
メロン類	548	71.4	460	125.1	391	73.0	464	124.5	377	109.2	491	95.6	1,315	79.8	470	117.5
(アールスメロン)	248	89.2	525	115.9	174	94.2	548	112.3	158	94.7	628	98.7	581	92.1	560	109.4
くり	27	314.1	749	94.6	158	171.8	548	73.2	230	136.6	507	74.1	415	154.3	538	75.9
すいか類	1,376	50.9	223	203.0	424	67.8	242	195.1	199	89.1	238	129.5	1,999	56.3	229	195.3
(すいか大王)	1,242	47.9	219	204.5	405	66.6	242	197.6	183	87.1	236	131.1	1,831	53.6	225	197.5
(こだますいか)	134	123.5	264	145.9	19	110.4	260	132.9	15	121.3	271	105.7	168	121.6	264	139.3
日本なし類	3,540	104.8	296	97.3	3,449	100.9	298	106.1	3,817	90.1	273	104.6	10,807	97.9	288	102.9
(なし(幸水))	2,652	86.4	285	95.0	394	19.6	264	100.1	45	14.9	231	96.9	3,092	57.5	282	99.5
(なし(豊水))	728	342.2	302	102.0	2,690	215.1	292	99.9	2,994	88.4	264	105.5	6,412	132.2	280	106.4
(なし(あきづき))	6	-	405	-	113	1068.4	369	89.0	372	168.2	329	96.3	490	211.7	339	98.2
(なし(新高))	0	-	216	-	6	12120.0	231	126.0	181	417.7	210	94.4	187	431.3	211	94.7
ぶどう類	1,521	108.9	1,061	113.4	1,547	107.2	1,075	112.0	1,708	99.6	1,114	113.5	4,776	104.9	1,084	112.9
かき類	22	95.3	790	105.8	130	281.6	456	72.1	799	99.1	395	113.3	951	108.6	412	110.3

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	8月下旬				9月上旬				9月中旬				8月下旬～9月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	8	1501.2	140	190.3	8	643.2	146	119.9	7	-	87	-	23	1253.4	126	116.6
にんじん	2	27.1	246	208.0	4	59.3	282	229.3	2	17.0	205	182.6	8	29.9	252	215.9
キャベツ類	2	849.8	104	55.1	3	96.3	110	97.1	0	0.4	258	239.5	6	20.2	110	101.0
ほうれんそう	4	65.2	739	108.4	7	88.6	720	87.9	12	70.0	809	142.3	23	73.7	771	118.2
ねぎ	19	60.7	387	119.3	12	74.3	448	114.8	19	125.3	536	144.0	50	79.9	459	129.8
レタス類	23	106.0	260	118.1	21	90.2	247	105.5	22	116.5	251	107.8	67	103.3	253	110.4
きゅうり	58	106.9	427	126.2	45	112.4	411	116.6	55	85.5	415	157.3	158	99.6	418	134.2
なす	7	42.7	234	104.8	6	59.1	279	103.6	5	36.7	401	160.1	19	45.0	295	120.7
トマト	121	80.3	433	129.5	316	127.0	426	94.4	350	84.1	428	121.1	787	96.5	428	112.7
ピーマン	5	63.5	577	138.7	4	79.5	504	124.3	4	94.6	574	123.4	13	76.1	553	130.0
さといも	165	115.1	332	87.0	157	94.3	297	93.0	215	84.3	314	103.4	537	95.1	315	95.9
ばれいしょ類	28	57.6	87	88.0	4	24.7	97	87.9	6	39.9	63	54.1	38	48.2	84	80.7
たまねぎ	0	3.4	162	336.7	0	141.0	137	152.4	0	477.8	137	190.5	0	18.9	141	273.1
かんしょ	447	99.6	229	107.3	525	98.4	202	102.8	645	101.3	204	101.9	1,617	99.9	210	103.8
かぶ	105	97.2	132	82.3	114	96.6	144	70.3	190	86.1	147	93.6	409	91.6	142	83.5
ごぼう	1	130.1	484	146.5	1	250.8	488	154.6	3	264.3	507	104.5	5	234.6	499	122.2
こまつ菜	10	60.3	417	106.2	12	66.4	374	113.7	17	72.4	422	153.3	39	67.1	405	124.6
しゅんぎく	1	51.2	1,606	92.1	1	29.4	1,664	132.6	3	58.7	1,484	201.9	5	49.5	1,533	148.9
サラダな	13	87.2	402	95.9	10	86.2	390	83.2	10	75.6	444	102.2	33	83.0	411	93.8
パセリ	5	80.8	1,905	188.7	3	78.2	1,770	153.4	3	47.0	2,014	165.6	12	67.9	1,892	168.6
ミニトマト	21	145.7	943	108.2	42	151.5	971	96.7	55	122.4	861	105.4	119	135.5	915	103.3
とうもろこし	12	53.6	255	107.0	2	105.7	324	99.8	1	75.9	171	59.1	15	59.6	259	103.9
いんげん	0	22.8	1,294	237.8	0	44.8	676	95.8	0	51.1	861	160.9	0	36.0	912	153.2
えだまめ	2	36.6	616	110.7	1	74.3	563	125.4	1	69.8	554	126.8	5	47.6	589	112.9
やまといも	43	117.9	595	88.1	33	103.1	589	87.7	34	115.4	581	86.8	110	112.3	589	87.6

品目 (果実)	8月下旬				9月上旬				9月中旬				8月下旬～9月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
メロン類	8	79.4	432	104.6	6	70.0	442	106.8	6	79.0	423	89.7	20	76.4	432	100.6
(アールスメロン)	8	100.7	448	99.9	6	87.8	444	102.5	6	81.5	428	92.2	19	90.4	441	98.2
すいか類	28	65.3	163	149.9	18	94.6	290	170.7	19	48.4	267	145.7	64	64.2	229	153.2
(すいか大王)	27	65.6	156	145.5	18	94.5	290	171.3	19	48.4	267	145.7	64	64.3	226	151.9
日本なし類	701	79.5	283	97.4	753	108.7	309	102.8	497	63.1	274	105.1	1,951	82.6	291	102.5
(なし(幸水))	257	35.7	244	84.5	11	16.2	348	132.2	4	84.8	126	39.8	272	34.4	246	85.9
(なし(豊水))	426	277.2	300	103.3	658	110.2	297	99.1	262	43.0	254	107.0	1,347	99.0	290	106.9
(なし(あきづき))	5	-	400	-	50	619.7	397	94.5	103	110.3	365	94.6	157	155.1	376	96.9
(なし(新高))	0	-	0	-	3	5990.0	246	134.0	98	255.9	223	99.4	101	263.4	224	99.7

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えます。  
0は単位に満たないもの。-は数値の発表がないもの。

前年比10%以上  
前年比10%以下

資料: 東京青果物情報センター速報

## 2 10月の見通し

### 野菜

10月は、高冷地産や北海道・東北産から関東産への切り替わりの時期となる。

「だいこん」は、中旬以降に関東産への切り替わりとなるが、出荷終盤となる北海道・青森産の順調な出荷が見込まれるため、価格は安かった前年を上回るものの平年は下回る見込み。「トマト」は、関東産で高温による着果不良等が見られることから、前半は入荷量が少ないと見込まれる。

野菜全体では、入荷量は前年を下回り、価格は安かった前年を上回る見込み。

### 果実

「日本なし類」、「ぶどう類」から、「みかん類」「りんご類」「かき類」に主力品目が切り替わっていく。

「日本なし類」では生育の前進化により、品種の切り替えが早いことから、豊水、あきづきの出荷量は平年を下回る見込み。「みかん類」「りんご類」は台風による落果や風擦れ、干ばつによる小玉傾向が予想され、出荷量は平年を下回る見込み。

果実全体では、入荷量は少なかった前年並で、平年を下回り、価格は高かった前年並で、平年を上回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	↘↘	↑↑	↘↘	主産地は北海道、青森県。降雨の影響で播種や生育が遅れていたが、生育は回復傾向。入荷量は少なかった前年並で、平年をかなり下回る見込み。
キャベツ類	↘	⇒	↑↑	↘↘	主産地は群馬、千葉県。群馬県は玉肥大が良く、千葉県は高温、干ばつの影響は少ない。入荷量は多かった前年をやや下回るが、平年並の見込み。
ほうれんそう	⇒	⇒	⇒	↘	主産地は群馬、茨城、栃木県。露地で一部発芽遅れが見られるが、全体では生育は順調。入荷量は前年及び平年並の見込み。
トマト	↘	↘	↗	⇒	主産地は千葉、福島、茨城県。主産地で小玉傾向や高温による花落ち、裂果等が見られ、作柄悪い。入荷量は前年及び平年をやや下回る見込み。
さといも	↗↗	⇒	⇒	⇒	主産地は埼玉、千葉県。干ばつ対策でかん水を実施し、産地全体では生育は概ね順調。入荷量は少なかった前年をかなり上回るが、平年並の見込み。
かんしょ	⇒	⇒	⇒	⇒	主産地は千葉、茨城県。高温干ばつによる形状不良が散見されるが、肥大は良好。入荷量は前年及び平年並の見込み。

増加 減少

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上



### 3 今月の青果物

#### かんしょ

主要産地のかんしょの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	29年10月入荷量	29年10月シェア率
千葉	1,773 t	54.5 %
茨城	957 t	29.4 %
徳島	327 t	10.0 %
鹿児島	163 t	5.0 %

#### 今後の競合産地の動向は?

東京都中央卸売市場におけるかんしょの10月の入荷量の県別シェアは、千葉県(55%)、茨城県(29%)で、千葉県は5割以上を占める主要な産地です。

千葉・茨城県産の主力品種は「ベニアズマ」ですが、粘質系品種の作付割合が増加傾向となっています。

焼き芋の需要は前年に引き続き高い状態で、千葉では年内「シルクスweet」、年明けから「べにはるか」、茨城では年内「紅優甘(べにはるか)」、年明け「紅まさり」、5~8月「熟成べにこがね(ベニアズマ)」などを戦略的に出荷していて、卸売会社から良い評価を得ています。

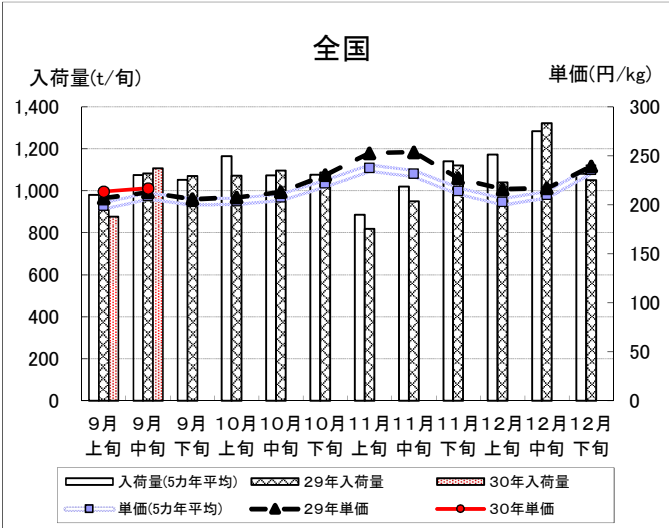
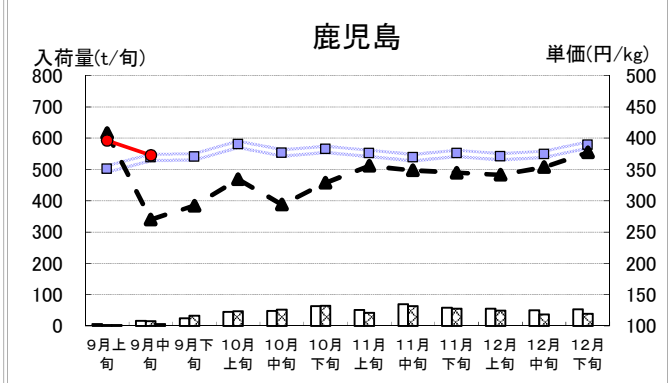
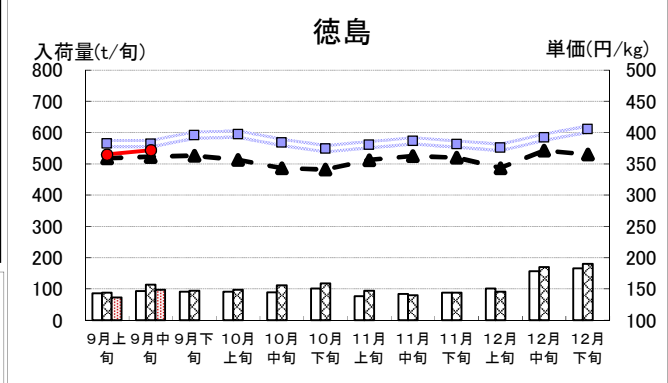
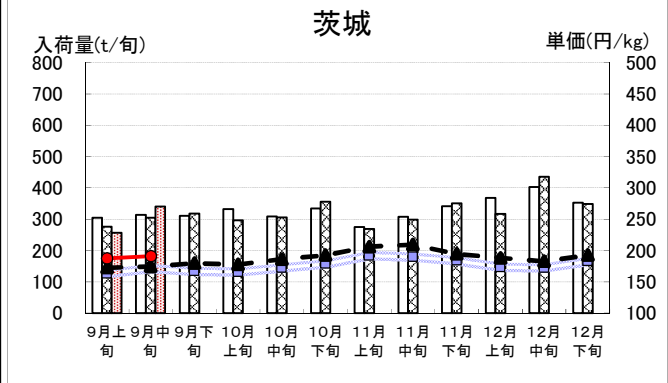
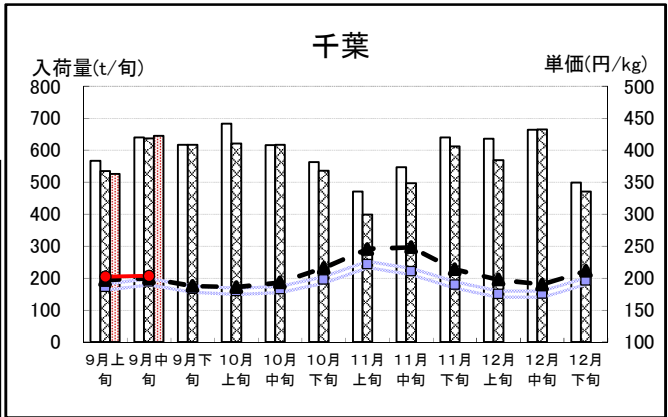
本年産は、千葉・茨城県産は、梅雨明けが早く高温・干ばつの影響により生育不良が見られたものの、8月に台風による降雨があり、肥大は回復しています。徳島県は台風による影響も少なく、肥大は順調です。

需要動向については、本年は前年に比べ貯蔵残量が少なく、新物にスムーズに切り替わりました。9月中旬から気温が下がり、需要が増加しています。

10月の入荷量及び価格は、平年並の見込みです。

11月は収穫や貯蔵作業と重なり入荷量が減少しますが、需要期のため計画的な出荷が求められています。

10月入荷予測	3,350t(前年比102.9%、平年比101.1%)		
10月価格予測	212円(前年比97.7%、平年比100.5%)		
10月市況予測	(上旬) 保合 ⇒	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 強保合 ↗



## Ⅱ 花き(切花)情報

### 9月(中旬)までの経過

8月の暑さで菊類の開花遅延、各地の災害の影響により、入荷量は平年をかなり下回り、相場は平年をかなり上回った。

#### 販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	旧盆需要後の8月下旬から9月上旬は入荷量が平年をやや下回った。彼岸需要である9月中旬は平年を大幅に下回った。
相場	入荷量が少ない影響で、8月下旬から9月中旬まで相場は平年をかなり上回った。
動向	高温、台風等の影響により、多くの品目で入荷量が少ない傾向であった。

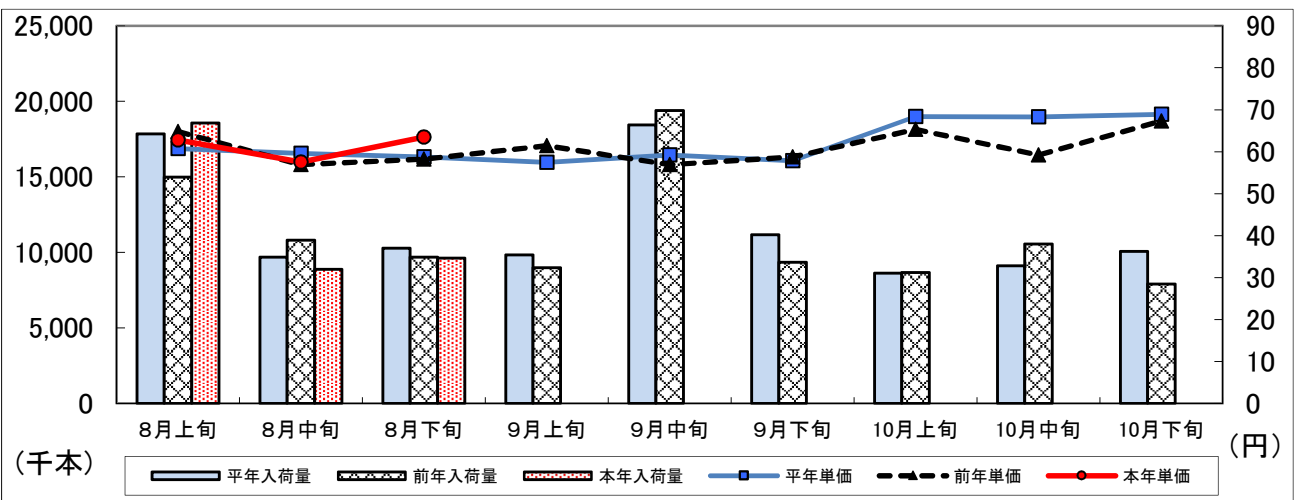
#### 品目別経過

品目	経過	
輪菊	(株)大田花き	開花遅延の影響から不安定な入荷となった。彼岸需要中心の動きで、中旬以降は相場が安定した。
スプレー菊	(株)大田花き	各産地生育がやや遅れていた状況だったが、彼岸需要期には上位等級中心だった。外国産も潤沢な入荷。黄色、ピンクの動きが堅調、MIX、白の動きは弱めであった。
	(株)世田谷花き	彼岸の需要期であったが入荷量少なく、単価は保合から強保合であった。

### 10月の見通し

品目	見通し	
ガーベラ	東京フラワーポート(株)	高温が続いたことによる障害もあり、花芽の立ち上がりが鈍い品種も多い。
鉄砲ユリ	(株)世田谷花き	高冷地産はほぼ終了。千葉、埼玉県産が始まるが、入荷は少なめの見込み。

### 8月の入荷量と単価の経過《確定値》〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均



### Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

#### 青果物

単位：t、円/kg

品目	H30.8月				累計（H30.1～H30.8月）			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	17,299	0.84	222	1.18	154,548	0.87	203	1.06
だいこん	2,457	0.89	104	1.19	18,120	0.84	112	1.30
にんじん	910	0.72	137	2.10	8,961	0.81	144	1.10
はくさい	1,004	1.00	111	1.29	10,299	0.86	101	1.10
キャベツ	2,818	0.74	90	1.15	27,217	0.83	107	1.20
ねぎ	499	0.82	407	1.16	5,759	0.82	334	1.09
トマト	1,019	0.77	402	1.28	6,984	0.78	329	1.05
きゅうり	886	0.83	371	1.24	5,707	0.78	307	1.13
ばれいしょ	792	0.90	114	0.99	10,170	0.98	106	0.59
たまねぎ	1,651	0.94	104	1.22	13,861	0.95	99	0.99
レタス	908	0.74	159	0.94	6,846	0.81	192	1.22
果実	5,960	0.91	328	1.02	34,594	0.88	391	1.09
みかん	39	0.70	842	1.04	3,263	0.71	337	1.25
かき類	4	1.03	775	0.98	115	0.76	359	1.26
グレープフルーツ	150	1.08	171	1.03	854	1.02	202	0.97
なし類	2,304	1.04	302	0.88	2,337	1.05	302	0.89
ぶどう類	283	0.97	912	1.09	747	1.04	769	1.03
いちご類	3	0.96	1,669	1.02	2,670	0.95	1,144	1.03
すいか類	1,225	0.83	170	1.07	4,790	0.82	221	1.07
メロン類	290	0.86	353	0.96	2,385	0.84	386	0.99
バナナ	374	0.81	161	1.16	3,249	0.82	165	1.12
りんご	191	0.82	395	1.16	3,468	0.85	337	1.19
その他	203	1.07	156	0.93	1,952	0.96	174	0.97
青果物合計	23,462	0.86	249	1.13	191,094	0.88	237	1.07

#### 花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	H30.8月				累計（H30.1～H30.8月）			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	2,153	0.47	67	1.03	19,589	0.60	60	1.06
きく	750	0.44	75	1.04	6,484	0.57	64	1.04
バラ	48	0.31	65	1.14	766	0.53	75	1.15
カーネーション	339	0.54	49	0.98	2,790	0.65	45	0.99
枝物	32	0.51	110	0.94	426	0.63	105	0.98
鉢物	35	1.06	181	0.89	842	0.93	132	0.98
その他	1	0.50	93	6.64	20	0.68	62	0.70
花き合計	2,221	0.47	69	1.04	20,877	0.61	64	1.06

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単価に満たないことを示す。

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

※平成30年4月1日から市川市地方卸売市場が民営化され調査対象外となった。

## IV や っ ら ゃ ば 閑 話

### 値ごろ感とは？

今年の夏は特別暑かったが、連日のように続いた猛暑も一段落して、日に日に秋めいてきた。秋といえば、食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋、そして忘れてはいけないのが行楽の秋ではないだろうか。まだ暑さが残る日があっても、日中でも活動しやすい温度帯で、休日も多い。秋晴れの爽快さといったら、筆舌に尽くしがたい。先日、連休を利用して東北方面に行ったのだが、仙台に足を運んだ際に、名物の牛タンを食べてきた。平日のランチ5日分に匹敵するお値段だったが、肉厚でご飯が進む牛タンと旨味が凝縮されたテールスープに十二分に満足できた。お高かったが、お腹だけが満足しただけでなく、話のタネになる良い思い出になったのである。

市場にいと、「相場」と並んで「値ごろ感」という言葉をよく耳にする。実態があるようでない、時と場合で形を変える、雲をつかむような言葉である。辞書で意味を調べてみると、「品物の価値相応の値段である感じ。また、買い得であるという感じ。」とある。それは品物そのものの絶対的な価値というよりは、買い手がその時にその品物に対して、(また、もし他に代替できる品物があれば、それと見比べて) 適正価格もしくはお買い得だと思ふことである。どうしてもすぐにそれが欲しいというわけではなければ、価格が下がるまで待てばいいが、日常の食卓に上がる生鮮食品などはそうはいかない。ある八百屋さんに聞くと、野菜なら1品200円を超えると途端にお店で売れなくなるそうである。その値ごろ感の上限のようなものは、店舗の立地や客層によっても変わると思うが、その上限を超えるとお客さんはカット野菜や冷凍野菜、乾物などの加工品にシフトする。グラム当たりで割高になっても、お客さんの値ごろ感を満たせば売れるのである。

話は少し変わるが、卸売価格で1本1万円近くの松茸や1玉(房)でウン十萬円の果物など、私が食べることは夢のまた夢であるが、そんな高級青果物にも値ごろ感を感じて購入される方がいる。きっと、特別な思い出や話のタネになっているに違いないと思う。そんなアップナーな商品はごく一握りであるにせよ、期間限定・解禁や「ここだけでしか食べられない」などのフレーズ、旅先、物日や特別な日などに財布の紐は緩くなり、普段なら手が出せないものにも値ごろ感を感じる。いつもとちょっと違うシチュエーションの演出やストーリーが必要である。また、値ごろ感を出す＝安売りではない。不要な安売りはお客さんが不審に思うこともある。もちろん、ライバルの中から選んでもらえる戦略をとることが不可欠だが、産地や生産者と売手が手を取り合って、そのヒントを一緒に考えていければ良いと思う。

(青空観測所写真部副部長代理補佐)

# V 首都圏揭示板



## 消費が広がる“生落花生”

生落花生というと、産地以外では入手が難しいイメージがありますが、最近では都内のスーパーやデパートの生鮮食品売場、八百屋、生協などでも取り扱われるようになり、一般消費者の間でも徐々に認知度が上がっています。都内の小売店では、250g～400g程度がビニール袋、パック等に入れられた姿で販売されています。

大田市場へは、8月～10月に掛けて千葉県産、静岡県産などが入荷します。出荷期間が短く、大量に売れる品目ではありませんが、今後、販路拡大が期待できる県産農産物です。



市場での荷姿（ネット、パック）



おまさりの塩ゆで



## 松茸競り場が出現 ～秋の気配です

大田市場では8月頃から中国産など外国産の松茸をしばしば目にするようになりますが、国産松茸の本格的な出回り時期となる9月に入り場内には松茸の特設競り場が設置されました。

きれいに箱詰めされた松茸が整然と並ぶ様子は壮観の一言。国産松茸は1箱（400g）が13,000円程度で次々と競り落とされていき、高値は50,000円以上になります。

柿、栗、あけびなど秋を象徴するような品目も続々と入荷しており、市場内には一足早く秋が訪れています。



東京青果(株)松茸競り場



松茸（岩手県産）



ひときわ目を引く色彩のあけび（山形県産）